

OB 会社訪問

鎌田工業株式会社

代表取締役社長 鎌田 満雄

昭和27年土木科卒
東京秋工会 顧問



本誌に長年賛助広告を頂いている鎌田工業株式会社の本社に、同社社長 鎌田満雄氏(S27C)の土木科後輩である私、地主(S37C)と、同じ社長として常にアドバイスを頂いている佐々木進さん(S40S)、「金砂」の副編集長及び制作・発行責任者として貢献されている船木一美さん(S48M)の3人でお伺いしました。

ゴルフ同好会や「金砂健児の集い」では見せない経営者としての真摯な対応のなかに、秋田人の素朴で忍耐強く、優しく明るい人柄に会社隆盛の基(もと)が有ると思ひ、「質実剛健」の金砂健児の体現者が先輩として活躍していることに誇り感じながらお話をお聞きました。

<会社概要>

称号 鎌田工業株式会社
所在地 東京都中央区日本橋箱崎町41番地8号
資本金 4,800万円
設立年月日 昭和43年9月27日
建設業許可 国土交通大臣(特一24)第13013号
一級建築士事務所 東京都知事登録 第57399号

Table with 2 columns: 建設業の種類 (Construction Types) and 主たる取引先 (Main Customers). Rows include 土木事業 (Civil Engineering), 建築事業 (Building), 大工事業 (Carpentry), 鷹・土工事業 (Soil/Earthwork), 鉄筋工事 (Reinforcement), 舗装工事 (Paving), 内装仕上 (Interior Finishing), 鋼構造物 (Steel Structures), 民間 (Private), 官庁 (Public), and 事業所 (Branches).



... 鎌田工業株式会社 ...

<会社設立まで>

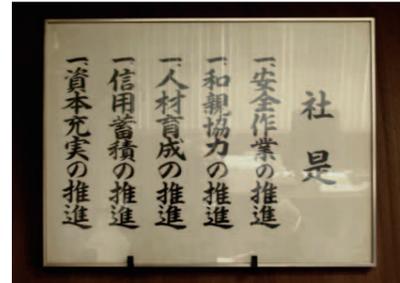
潟上市昭和久保出身の鎌田社長は、昭和27年に母校を卒業し建設会社に就職しましたが、2年後に倒産し20歳で失業してしまいました。農家の五男坊は無謀にも、なんの当てもなく上京!

上野駅から当てもなく浅草へ、そこに地下街の工事現場があったので「働かせてください!」と飛び込んだのが建設大手の鹿島建設。2、3日働いたら突然栃木県のダムへ行けと言われ靴一つでダム現場へ。川田班(協力会社)の社員として、作業員の労務・賃金管理のデータをとる「出面(でずら)」を任せられ、正確な仕事が評価され鹿島建設の大型工事に携わるようになりました。

川田班で14年間仕事をしていましたが、「男子いつまでも人に使われていても面白くない、よし!独立しよう!」と現場の東海村原子力発電所の所長に話したところ、池袋の小林組を紹介され、社長のご尽力により、昭和43年9月東京都練馬区向山で従業員3人での「鎌田工業(株)」を立ち上げました。

<設立からの50年を支えた経営理念>

会社も30年続けば大変なこと。浮き沈みが多い業界で鷹・大工・鉄筋・土工等の建設業者として生き抜き50年!多い時は700~800人を抱える現場を担当してきた鎌田社長の経営理念は会社の社是に網羅されています。



社是

- 以下、鎌田工業株式会社ホームページより。
●次世代に受け継がれる創意工夫と新旧の調和を考え、ベストミックスをうみ出す。それが鎌田工業です。
●鎌田工業は事前調査・積算・施工計画・品質・安全管理を含む、

トータルバランスを考えたご支援と創意工夫に溢れたご提案をさせていただきます。
●特に難易度の高い大型工事の実績を生かし、専門工事分野においてはより高いレベルでお客様のご要望にお応えできると考えております。

<“できない”は無い、が鎌田工業社員の合言葉>

鎌田社長は言います「最初は大変だった!金がないから手を抜いて品質が落ちたり、事故があったりすれば仕事は来ない。信頼関係が第一。コツコツとやってきました」と。
昭和44年に鹿島から直接仕事を頂ける名義人となり、名実共に一本立ちとなりました。当初は年間2千100万円の売り上げも10年で10億円となり最高時は60億円に上りました。

東北への進出は、冬場仕事の無い札幌の会社が千葉と一緒に仕事をしていて、社長が鹿島建設東北支店の建築部長と親しいと紹介され、仕事を頂くことになりました。
鹿島の東北支店・青森・秋田・山形の営業所のビル建設を任せていただき、社是の信用蓄積に努め、やがて鹿島東北支店で一番の協力会社となり協力会の会長として貢献してきました。

東北支店には秋田工業出身の土木・建築・機械・電気の後輩が沢山いて、陰に陽に応援してくださり、秋田は元より東北6県で沢山の仕事をさせていただきました。特に印象に残るのは楽天野球団が平成17年にプロ野球に新規参入した際、本拠地となる宮城球場(現コポスタ宮城)の大改修を任せられました。平成16年11月の参入決定から平成17年3月のオープン戦までの5カ月の短期間に、グラウンド整備・客席増設・練習場・クラブハウス等、100人の作業員が正月休みも返上、昼夜の別もない施工で完成!良く出来たと称賛を頂きました。

これこそ“できない”は無い”を証明したもので、その後も同球場の改修を何度も担当させていただいています。

さらに、仙台の「NTTドコモ東北本社ビル」150m級の超高層ビルで短期工期の施工を考慮し「逆打ち工法」を採用した。1階の床を先に施工した後、地下の掘削、躯体工事と同時に地上部の鉄骨を施工する工法で当社の施工計画力、施工管理が十分発揮された工事でした。千葉の「流山物流センター」は国内有数の大型物流倉庫で総面積が16万㎡で、当社はその巨体をささえるための1,600本のSRC柱、躯体の工事を担当しました。16カ月の短工期、さらにコンクリート打放しに加え、柱の施工にシステム型枠を使用することにより、工期内に竣工できました。当初はシステム型枠の強度や出来型の精度を確保するために大変苦労しましたが、

主な実績



宮城球場(現コポスタ宮城)



NTTドコモ東北本社ビル



流山物流センター



キャノン弘前工場



TDK-MCC本荘工場 ※他多数

鹿島社員と当社社員と作業員が一体となり、工夫、改善を重ね、無事竣工し、鹿島から社長賞を頂きました。

社是の「信用の蓄積」はこのような毎日の仕事の中で信用を頂き、お得意様とのコミュニケーション能力を高め、情報を頂き次の仕事に繋ぐことを社員全員の頭の中に叩き込んであります。

社員と作業員の皆さまによる、コツコツの50年の積み重ねが現在の姿です!感謝、感謝、有るのみです。

<管理手法>

社是の和親協力・人材育成の観点から、製造業と違って人が資源の建設業は、いかに社員・作業員の資質の向上とやる気の醸成が大事かを肝に命じています!そのためには先ず皆が人並みに生活できる給料(マンマが食える)を確保しなければなりません。20年30年と私の会社で働いてくれる職人さんとは正に和親協力、目配り・気配り・心配りを忘れず親身に対応してきました。

月に一度の本社での会議は各営業所の所長が当月の出来高・出来形写真・収支の現状・来月の予測・当面の課題・営業情報等統一されたマニュアルに添って報告されます。これらの周知徹底まで、コツコツと10年掛かりましたが、昔のように現場に行かなくても状況が手に取るように分かり、各所長達に任せておくことができます。

<これからの課題>

職人の高齢化が進み、若い人の確保が難しい時代となりました。募集をかけても、ほとんど応募がありません!「きつい・汚い・給料が安い・休みが少ない」と、業界挙げて取り組まなくてはならない課題ですが、当社では知恵を出し合い少しでも改善の努力をし、鹿島の改善発表会では、常に優秀賞を頂いています。

<健康管理>

60歳までは現場に出て、陣頭指揮を取ってきましたが、年と共に体力の衰えを感じています、しかし、若い者に負けてはいられません!大好きなゴルフは、秋工会の皆さまとレイクウッドゴルフクラブで地主さん、佐々木進さんなどとゴルフを楽しんでいます。平日は会社近くのホテルのプールで泳いでから出社し、「体をすっきりさせて仕事をはじめる!」を約20年間習慣とし、健康診断では、60歳代の体力とお医者さまから太鼓判を頂き、食と運動に気をつけ頑張っております。

<同級会・ひなどり会>

昭和27年土木科卒業生(43名)でなる同級会で、物故者も多くなりましたが、不定期では有りますが近況報告を兼ね同級会を開いています。建設省(現国土交通省)初め各官庁や業者で活躍した連中との思い出話の最後は、金砂健児で良かったな!
母校と東京秋工会の益々の活躍を期待しております。



※魁新聞「あきた人」に掲載された鎌田氏の記事

◆記事 地主 勝己 (昭和37年土木科卒)